

2019年3月17日三条市講演会

各地ですすむ 木質バイオマス発電と 放射能ごみのばらまき

NPO法人市民放射能監視センター（ちくりん舎）

副理事長 青木 一政



放射能ごみの「ばらまき」が
始まっている

汚染土で盛り土計画

環境省 常磐道の4車線化工事



東京電力福島第一原発事故後の除染で発生した汚染土を、環境省が福島県南相馬市内の常磐自動車道で、四車線化工事の盛り土に利用する計画が浮上した。福島県内で出た膨大な汚染土は、中間貯蔵施設（大熊町・双葉町）に搬入することが原則だが、最終処分地は未定。環境省は公共事業に利用し、最終的な処分量を減らしたいと考えた。地元住民らは「盛り土に使うのは、事実上の最終処分だ」と反発を強めている。

地元関係者によると、環境省の計画では、南相馬市沿岸部の仮置き場に保管している汚染土約千立方メートルを異物を取り除くなどした後、平均放射能濃度は「一割当たり七〇〇程度で特別な処分が必要な指定廃棄物（同八〇〇〇）より低い」とされる。常磐道浪江―南相馬インターチェンジ（IC）間で一部区間の拡幅部分の盛り土に土を表面を汚染されていない土で覆う。

浪江―南相馬 IC間



住民反発「事実上の最終処分」

環境省は昨年十二月十四日の市議会全員協議会で、盛り土に使うことを「実証事業」として説明した。同二十八日には事業候補地の同市小高区羽倉地区の相良繁区長（まこと）に、住民説明



汚染土で盛り土をつくる計画の候補地、トネルの上は南相馬市馬場公園。福島県南相馬市小高区の常磐自動車道で、本社へ「おつる」から

利用拡大の突破口か

伴英幸・原子力資料情報室共同代表の話 汚染濃度が低いからといって、汚染土を公共事業に使うのは筋違い。中間貯蔵施設で30年間きちんと管理すべきだ。最初は汚染濃度が低いものを使い、使える土を増やすため、最終的には指定廃棄物すれの8000以下まで持っていくのではないか。今回の計画はその突破口になる恐れがある。

既成事実の積み上げ

清水晶紀・福島大准教授（行政法・環境法）の話 汚染土は中間貯蔵施設に搬入するのが原則。それを道路の盛り土に使うというのは、政府が説明してきた中間貯蔵施設に関する制度設計を、根拠から覆す行為だ。一度埋めたものを掘り返すとは思えず、既成事実を積み上げようとしているのではないか。

の周りに農地があり、大雨などで汚染土の流出が心配だ」と話した。今月三日には住民の緊急役員会を開き、環境省と交渉しない意思を確認するという。

計画について、環境省で担当する山田浩司参事官補佐は「地元で正式に話していないので、お答えできない」としている。

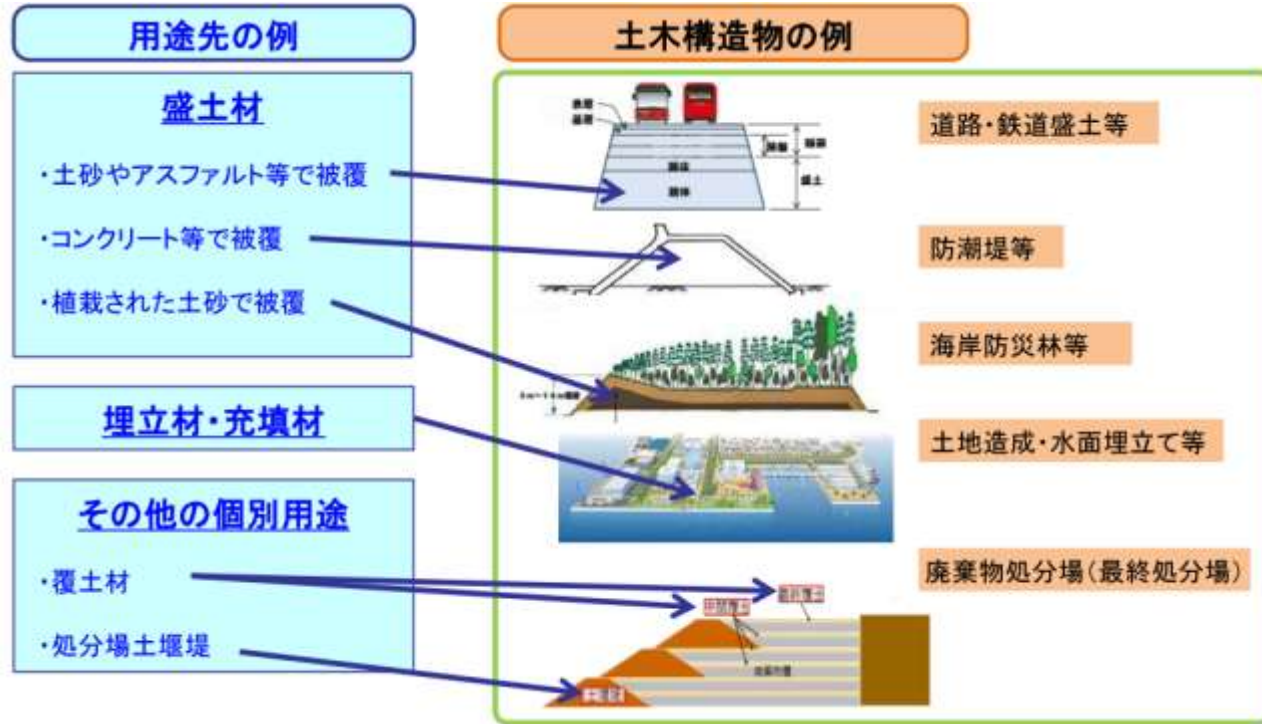
汚染土利用を巡っては、南相馬市の仮置き場で二〇一七年五月から盛り土をつくり、周辺の放射能濃度と浸透水の放射能濃度を測定した。放射能濃度の高い飯館村長泥地区では一八年十二月から、汚染土で園芸作物を栽培し、放射性セシウムの移行状況などを調べている。今後、盛り土の造成や露地栽培をする。一本松市では市道の盛り土工事を使う実証事業を計画したが、住民の反対で頓挫している。

2019年2月2日
東京新聞

環境省が各地で進める除染土の「再利用」



中韓貯蔵施設内での除染土処理（福島民報）



- 常磐道拡幅工事（南相馬市小高区）で除染土を盛土に利用計画。
- 中間貯蔵施設では除染土再利用のための分級処理実証試験を開始。
- 福島県南相馬市で実証試験。飯館村長泥地区では、他地域から除染土を持ち込み覆土して花などの試験栽培。二本松市では住民の反対で実証実験計画撤回。
- 福島県外でも茨城県東海村と栃木県那須町で実証試験開始。

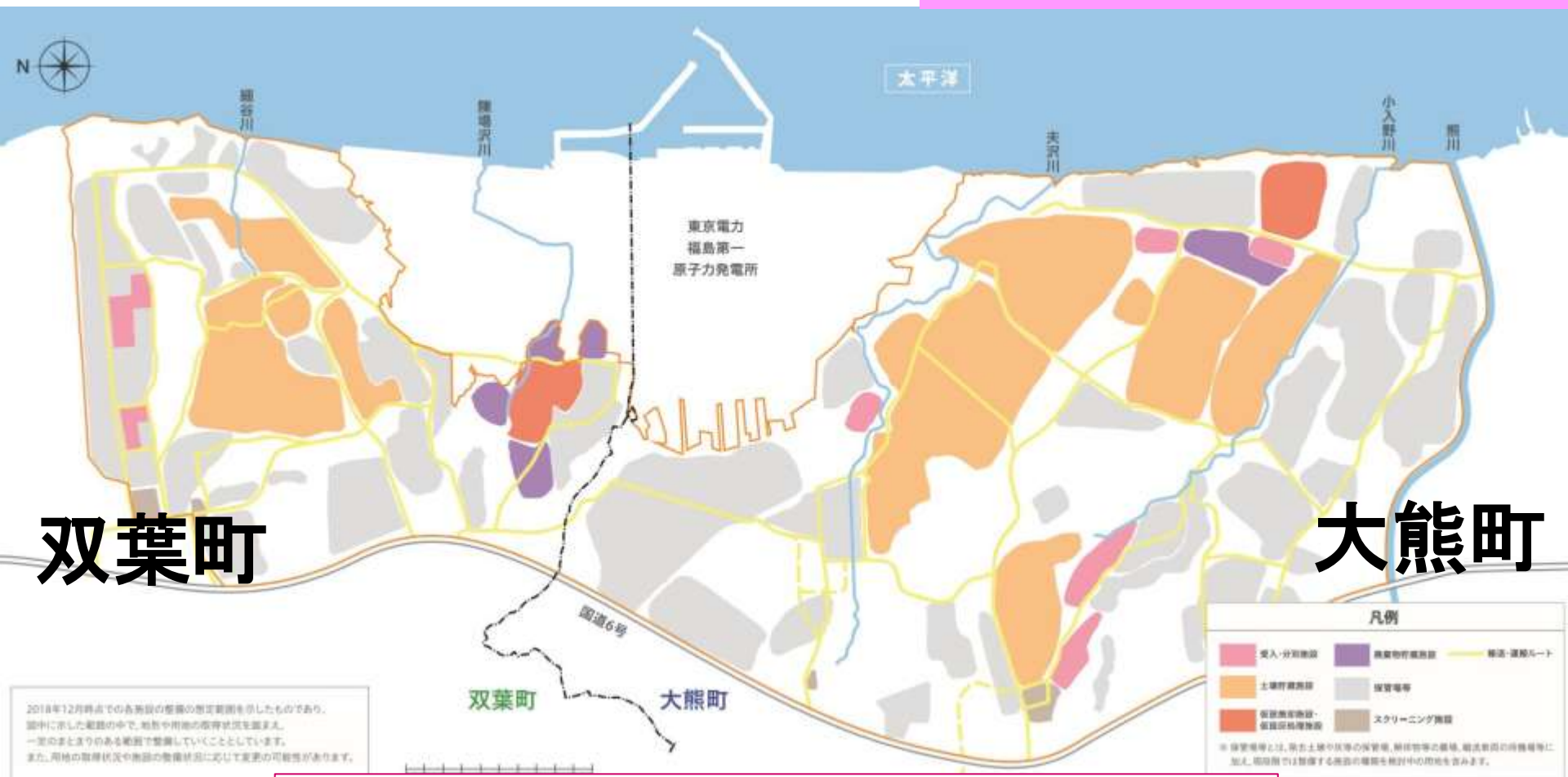
「中間貯蔵施設」という名の除染土再処理工場



中間貯蔵工事情報センターHPより

中間貯蔵施設 1兆6千億円（試算）補助金3010億円

世界初のナショナルプロジェクト



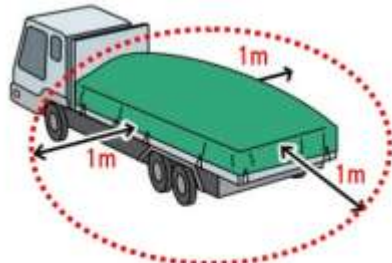
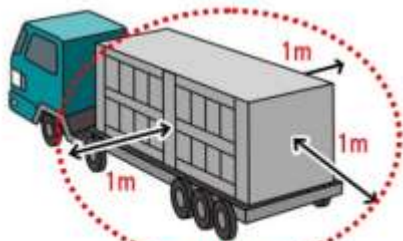
**除染土および
10万Bq/kg超の焼却灰のリサイクル**

始まった除染土の大移動計画



表3-2 運搬車から1mの地点における空間線量率の試算例*

	平均放射能濃度 (Bq/kg)						車両運搬規則における車両から1m離れた位置での最大線量当量率
	3千	8千	3万	15万	50万	100万	
空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	0.27	0.72	2.7	13	44	89	100



除染土運搬トラックの線量基準

- ・側面1mで $100 \mu\text{Sv/h}$
- ・端面1mでは $20 \mu\text{Sv/h}$
- ・**200mSv/年以下**の場所の除染で生じた土壌の運搬では**測定不要**。



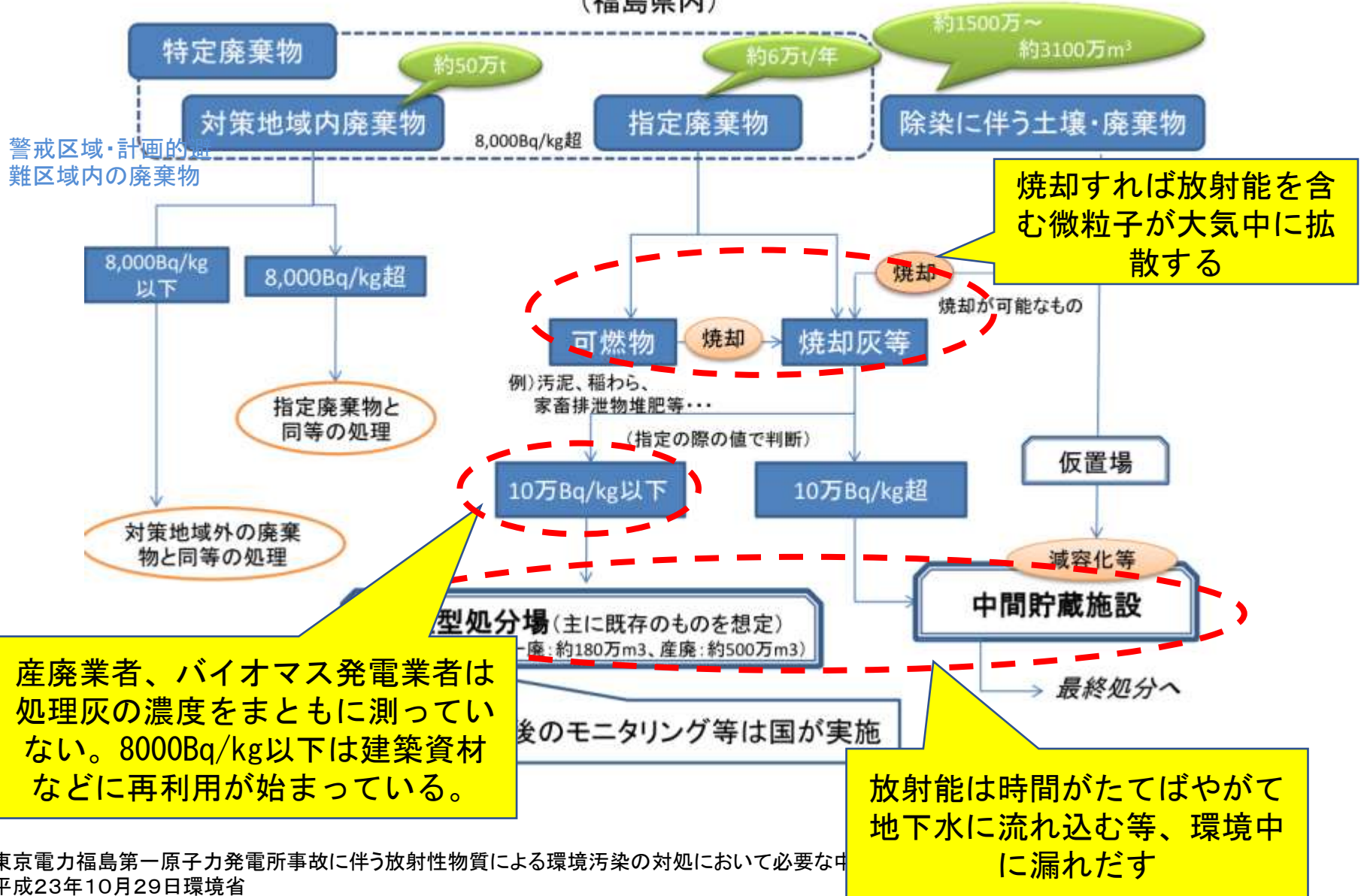
1年間そばに居続けると公衆の被ばく限度の900倍。**10時間**そばに居続けるだけで**被ばく限度**に達する。高放射線を発するダンプトラックが**1日2000台**も街中を走行している！

燃やしてよいのか
放射能ごみ

「放射能濃度がどんなに高くても全て燃やす」：環境省方針

特定廃棄物及び除染に伴う廃棄物の処理フロー
(福島県内)

図2



東京電力の旗振りで放射能ごみ処理が新たなビジネスに 「除染・廃棄物技術協議会」

除染・廃棄物技術協議会

Technical Advisory Council on Remediation and Waste Management

廃棄物関連WG[第6期] メンバー企業:30社

コアメンバー

リーダー : DOWAエコシステム

サブリーダー : 大平洋セメント、JFEエンジニアリング

コアメンバ : クレハ環境、日本ガイシ、東京電力HD

<メンバー企業> 計24社(平成29年6月8日当時)

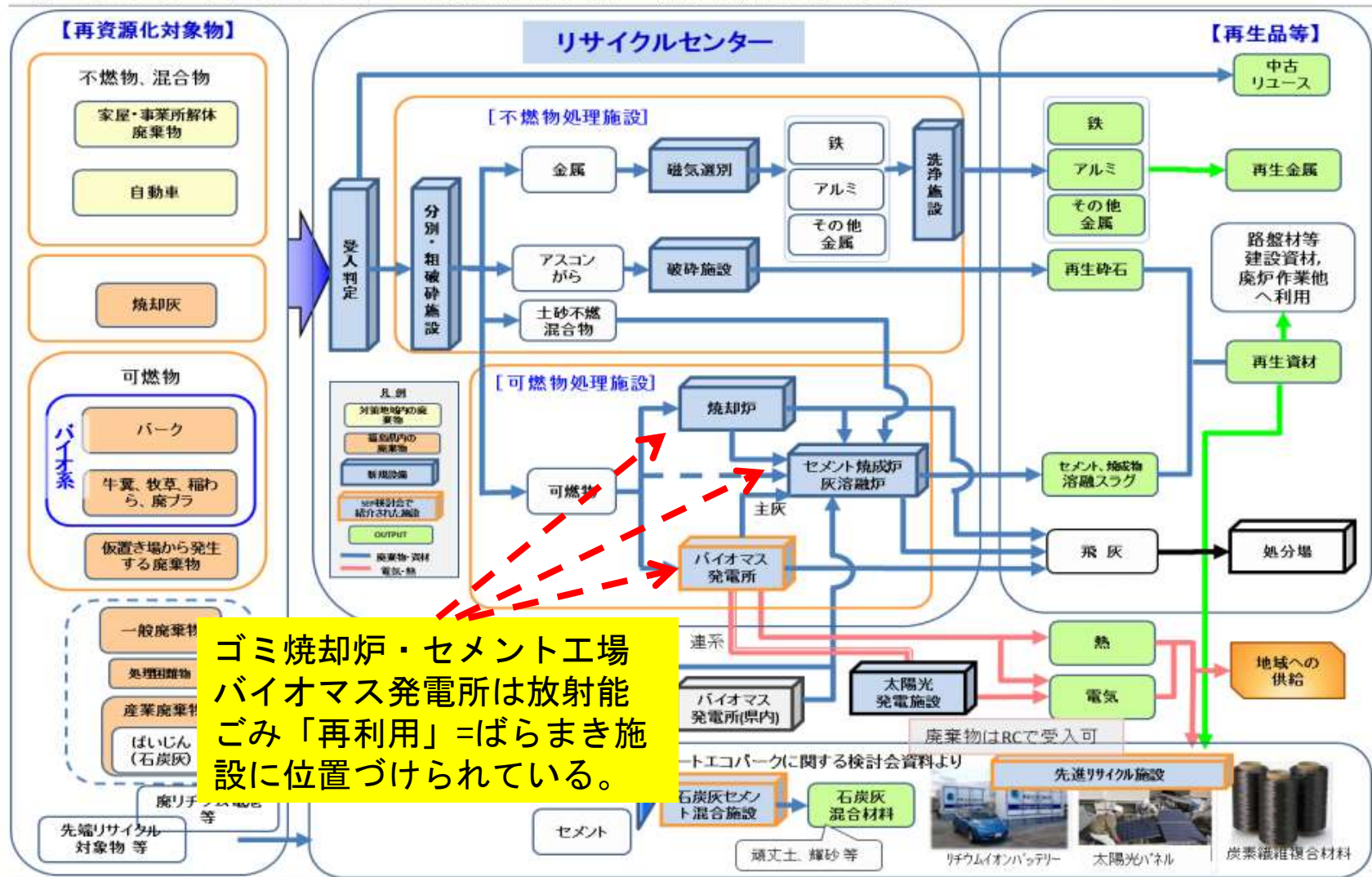
旭化成アドバンス、いであ、エヌエス環境、オオスミ、大林組、佐藤工業、JFE環境、シービーエス、清水建設、新日鉄住金エンジニアリング、竹中工務店、竹中土木、槌屋ティスコ、東亜建設工業、東急建設、日揮、日本通運、日立製作所、日立造船、ポニー工業、三菱マテリアル、りんかい日産建設、鹿島建設、東京パワーテクノロジー

木質バイオマス発電も「放射能ごみ処理」の柱に

除染・廃棄物技術協議会

Technical Advisory Council on Remediation and Waste Management

参考:リサイクルセンター構想全体像 (第4期WG ver)



放射能汚染した木材はチップ化されて燃やされる



福島県田村市都路にて (2018.5.22)